



今井 貴広 + 宮澤 有斗 展

Takahiro Imai + Yuto Miyazawa Exhibition

会期：2019年2月1日(金) - 2月27日(水)

9:00 - 17:00

会場：板室温泉大黒屋サロン

両作家在廊日：1、17、18、27日

アーティストトーク：18日(月) 20:00 - 21:00

会期中の休館日：5、6、7、19、20、21日

※展示は宿泊以外の方もご覧いただけます。

板室温泉大黒屋では2019年2月1日(金)から2月27日(水)まで、
今井貴広と宮澤有斗による二人展を開催致します。

今井貴広は、神奈川県生まれ、東京造形大学造形学部卒、大黒屋で3年勤めた後、現在は農業を営みながら美術作家として活動、宮澤有斗は栃木県益子町生まれ、岩手大学教育学部卒、大黒屋で4年間勤めた後、生まれ育った益子にもどり作陶しています。

今井は主に木材、紙、テープ、ガラス、紐、タイルやセメントといった製品未満、或いはデザインされる前の素材を使い制作しています。その様な素材のもつ、本来の使用目的を無視することや、素材に潜む特性を用いて新たな関係を探っています。本展では、半立体的な壁掛け作品をおよそ16点展示いたします。

宮澤は、最近では陶芸家として自然の色や素材本来の状態のものに日々惹かれるといいます。2017年の個展では、白い土を使った手びねりの作品と銀彩が中心でしたが、今展示では釉薬は使用しない土の質感がそのまま現れる焼締めの作品を中心に展示いたします。

日常使いのうつわ、お皿、鉢、カップ、酒器や花器などおよそ100点の新作を展示致します。異なる分野の作家による今展示ですが、大黒屋の空間、場をよく知るふたりです。どのような空間に仕上げるのか是非ご高覧ください。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。
ご質問等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

「今回は、二人が同時期に大黒屋に勤務していた縁を受け、あえて二人展を開催することに致しました。ふたりとも作家としてキャリアを始める前に、別のかたちで自分を磨くことを考え、大黒屋で勤務することを選び、日々、美意識を鍛えながらスタッフの一員として働いておりました。そのふたりが退社後、それぞれに活躍の場を広げ、作家として活躍していることを大変嬉しく思っています。今展示が二人にとって新たなきっかけに少しでもなれば思いながら、多くの方にご高覧いただけましたら幸いです。」

代表 室井俊二

今井 貴広 Takahiro Imai

1986 神奈川県生まれ

2012 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

主な展覧会歴

2017 青春画廊 西陣 open house 青春画廊西陣 / 京都

ちからの交換 -Interchangeable Potential- LOOP HOLE / 東京

2015 「Primal Contact」 今井貴広展 板室温泉大黒屋 / 栃木

2012 ZOKEI 展 東京造形大学 / 東京

2011 祀り小屋 旧下川邸 / 東京

HUB+JIM Vol.2 東京造形大学 / 東京

2010 camaboco 東京造形大学 / 東京

宮澤 有斗 Yuto Miyazawa

1987 栃木県益子町生まれ

2010 岩手大学教育学部芸術文化課程造形コース美術卒業

主な展覧会歴

2018 宮澤章・宮澤有斗作陶展 ギャラリータラッサモモ / 栃木

宮澤有斗展 ギャラリーシエール / 栃木

2017 宮澤有斗展 板室温泉大黒屋 / 栃木

2012 宮澤章・有斗二人陶展 益子焼窯元共販センター

2011 kyohan six gallery 栃木 益子
